



平成 29 年 12 月 14 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 オ ロ 代表者名 代表取締役社長 川 田 篤 (コード番号:3983 東証マザーズ)

問合せ先 専務取締役 管理本部長 (TEL.03-5724-7001)

業績予想の修正、配当方針の変更及び配当予想の修正(初配)に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月 14 日開催の取締役会において、下記のとおり、通期業績予想、配当方針及び配当 予想(期末)の修正を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成29年3月24日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表した 平成29年12月期通期連結業績予想を修正いたします。

(1) 平成 29年 12月期 通期連結業績予想の修正(平成 29年 1月1日~平成 29年 12月 31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3, 682	678	664	460	59円26銭
今回修正予想(B)	3, 890	820	800	520	66円98銭
増減額(B-A)	207	141	135	59	
増減率 (%)	5. 6	20. 9	20. 4	13. 0	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 28 年 12 月期)	3, 375	682	705	461	76円84銭

- (注) 1. 平成 29 年 12 月期の1株当たり当期純利益は、公募増資及び第三者割当増資を含めた期中平均株式数により算出しております。
 - 2. 平成 28 年 12 月 31 日付で普通株式 1 株につき 5,000 株の割合で株式分割を、また、平成 29 年 8 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。このため、1 株当たり当期純利益金額は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、主にビジネスソリューション事業において新規顧客獲得が好調であったことから、前回予想を上回る見通しとなりました。一方、当初見込んでおりました採用関連経費等の圧縮を主要因に、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

2. 配当方針の変更

当社では、企業価値を継続的に拡大し、株主の皆様に対する利益還元を行うことを重要な経営課題として認識しております。配当による利益還元につきましては、継続的に検討してまいりましたが、財務体質の強化及び今後の業容拡大を図るために内部留保に重点を置き、会社設立以来実施しておりませんでした。

しかしながら、当事業年度において企業業績が堅調に推移するとともに、将来の持続的な成長に向けた財務 基盤も整ってきたことから、株主の皆様への利益還元をより明確なものするため、配当を実施していくことを 決定いたしました。配当金につきましては、1 株当たり 15 円 00 銭を基準とし、業績、財政状態及び将来の 事業展開等を総合的に勘案し適宜見直しを行っていく方針といたします。

3. 配当予想の修正(初配)

平成29年12月期期末配当(初配)の内容

	1株当たり配当金(円)				
基準日	第2四半期末	期末	合計		
前回予想 (平成29年3月24日発表)	0円00銭	0円00銭	0円00銭		
今回修正予想		15円00銭	15円00銭		
当期実績	0円00銭				
前期実績 (平成 28 年 12 月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭		

本件につきましては平成29年3月28日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上